

2016年度東北芸術工科大学入学式 祝辞

2016年4月3日

尾池和夫

東北芸術工科大学に入学された皆さん、大学院に進学された皆さん、おめでとうございます。ご家族の皆さま、こころからお祝い申し上げます。

私が学長をつとめる京都造形芸術大学の人間館の1階には、この大学にあるのと同じ黒御影石の「藝術立国之碑」があり、同じ言葉がそこに刻まれています。そこには、「宇宙の神秘に平伏せ、地球の偉大さに畏れを抱け、生きとし生きる命を愛し尊べ」と刻まれています。

京都と山形という、大地の多様性と多様な文化を持つ日本列島の、いわば要を相互に結びながら、2つの大学が交流しつつ、共通に掲げる藝術立国の理念のもと、世界の平和を実現することを目ざして、教育と研究と社会貢献の活動が行われています。そのような姉妹校を代表して、今日、学部の入学式を迎えられた620名の皆さま、また大学院に入学された32名の皆さまに、心からお祝いを申し上げます。

「藝術立国之碑」には「天地人」の思想に繋がる内容が刻まれています。老子第二十五章には、「人は地に法り、地は天に法り、天は道に法り、道は自然に法る」とあります。その教えるところは、天地人、すなわち、人類を含む地球社会の共存を旨としています。本来の東洋の思想を基本に、地球上の命あるもの、それを支える地球を一体のものとして捉えます。地球社会の共存のあり方を知るためには、西洋流の科学の主流である分析的、還元的方法だけでなく、統合的、包括的手法による研究が重要であると私は考えています。

両大学の橋渡しとして設立された文明哲学研究所は、現在、京都造形芸術大学に設置されている研究所ですが、そこでの教育、研究、社会貢献は、2つの大学の学生たちの交流を推進する役目を果たします。今年、入学された皆さんも、ぜひその交流に参加していただきたいと思います。

そこでの基本的な課題は、人間とは何か、芸術とは何か、芸術の平和への貢献はいかにして可能となるかという課題です。人間は、科学と技術と学術と芸術を持っています。人工衛星を打ち上げ、インターネットを使うのが技術です。それらを使って宇宙とはどのような歴史と性質を持っているかというように、自然を観察して記録するのが科学です。それらを子孫に伝えていく手段を活用するのが学術です。そして、人は新しいものを生み出す創造という活動をする、それが芸術です。

「すべての芸術は自然の模倣に過ぎない」とまで言った人もいます。また、パブロピカソのように、「優れた芸術家は模倣するが、偉大な芸術家は盗む」と言った人もいます。しかし、私が学生の皆さんにいつもいうのは、自然を模倣するのではなく、自然をよく理解して、それを超える作品を創造してこそ芸術と言えるということです。そのためには、自然を観察して得た科学の知識を十分に学んで、自然の仕組みをよく理解しながら観察し、

そしてその観察から得られる感動を超える感動を人々に与えることのできる芸術作品を創造してほしいと思っています。人間は常に創造を続けます。その創造こそが、人類の強みであり、その強みを活かしてこれからの人生を生きてほしいと思います。そのような創造こそが、世界の平和に貢献する能力を持つのだと、私は信じています。

芸術的創造の目的は、いくつかあります。1つは、売れる作品を生み出すことです。市場はそのように売れる作品を待っています。人が買ってくれるような作品を生み出した人が高く評価され、その作品はそれを購入した人の暮らしを豊かにすることができます。

もう1つは、人類の未来に新時代を切り開く芸術作品です。過去に類を見ない創造こそ、真の創造であります。歴史を変える作品を生み出すことこそが芸術の大きな目標です。このような作品には解説が必要です。批評家の批判に耐えて、その作品の歴史的な意義を語る必要があります。そのように意図を伝えるということができると人類の強みでもあるのです。それを可能にするのが、歴史であり理論です。適切な言葉を身につけていなければ人に歴史的な意義を伝えることができません。そのことが大学院で芸術論を研究する目的であり、大学での学習です。そして、人類の豊かな未来のために、あなたの作品が出番を待っているのです。

皆さんの進路に関しては、この大学は常に見事なカリキュラムを実行していて、すばらしい卒業生たちを出していますので、私がとく申し上げることはないのですが、私自身も関わってきたJICAのことを少しだけ紹介します。1965年にラオスに向けて青年海外協力隊が飛び立ちました。それ以来、これまでに約4万人の人たちが、世界の88か国に出かけました。現在、約2千人が71か国で活動しています。現地の人々と共に暮らしながら、同じ言葉で話し、自助努力を高めることに配慮しながら協力するという活動が、50周年を迎えました。このような活躍の場があるということも人生を設計するときの視野において頂くといいかと、私は思っています。

皆さんとともに、私も大学での研究活動に努力していくことを約束し、皆さんとともに人類の平和に貢献するために活動を進めていくことを約束して、今日の入学式のお祝いの言葉といたします。

あらためて、ご入学、まことにおめでとうございます。

ありがとうございました。